

高津高校 SSH 通信



台湾サイエンスツアー

第1回事前研修

5月30日(土)高槻市の芥川にて、台湾サイエンスツアーの第1回事前研修を実施しました。本校では、12月下旬に台湾の交流校を訪問して合同河川環境調査を予定しています。それに向けて今回は、河川環境調査を初めておこなう生徒たちに、入門編として化学的水質、底生生物、魚類の3分野の調査を専門家の先生の指導の下で経験してもらいました。

化学的水質は、測定器やパックテストを用いて、pHや電気伝導度、CODや硝酸態窒素、リン酸態リンなどについて測定し、その結果が意味することを学びました。底生生物は、小型のたも網やピンセットを用いて、川底の石などに付着している生物を収集し、種の同定とそれぞれの生物の特徴を学びました。魚類は、たも網や投網を使って岩陰や、岸部、流れのはやい部分など様々な場所で魚を捕獲し、種の同定とそれぞれの生物の特徴を学びました。

どの分野についても、生徒にとっては初めての道具、初めての作業(特に投網は難しかったようです)なのでわからないことだらけですが、講師の先生の指導によって、全員が河川環境調査の方法について一通り学ぶことができました。次回は、担当する分野を決めて、より専門的に学ぶ予定です。

